

長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会
第3回 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会 議事録

日時：令和5年11月20日(月) 午後2時から
場所：長野市役所 講堂(第二庁舎10階)

出席委員：11名

柳沢部会長、石川副部会長、金澤委員、川北委員、古後委員、柄澤委員、横田委員、太田委員、篠原委員、鈴木委員、吉田委員

欠席委員：4名

植木委員、青木委員、塚田(ま)委員、塚田(篤)委員

- 1 開会
- 2 長野市都市整備部長あいさつ
- 3 もんぜんぷら座敷地利活用検討部会長あいさつ
- 4 議事

- (1) 導入機能の配置の検討について
- (2) もんぜんぷら座敷地の利活用の検討について

資料1、資料2、資料3 (説明者：事務局が説明)

参考資料1、参考資料2、参考資料3 (説明者：事務局が説明)

部会長	具体的な導入機能の配置ともんぜんぷら座敷地の利活用の2点について、それぞれ分けて議論をお願いしたい。2つに分けて意見を言うのが難しい場合は、分けずに御意見をいただいても構わないが、まずは導入機能の配置について、事務局から提示のあった導入機能の配置の素案を基に御意見をいただきたい。
委員	<p>参考資料1の既存施設の利用状況を見ると、コロナの影響も考えられるが、ここ5年間で大きく変化しているように思う。既存施設の稼働率が低くなっており、普通のビジネスなら倒産寸前になるほどだと思う。特にTOiGOがうまく活用されていない。TOiGOに関しては10年以上前から何とかしろと言われていたが、未だに何も変わっていないのは長野市が変えようとしなかったからではないか。こういうチャンスでないとTOiGOの改革はできない。TOiGOについては本部会のメインテーマではないが、新田町交差点周辺の施設として、同時に考えていかなければならない。ぜひ、TOiGOの活用を考えてほしい。TOiGOへの機能移転に関しては大賛成である。</p> <p>生涯学習センターを少し変えるという発想ではなく、TOiGO全体をゼロベース、空の箱だと考えて検討した方が良いのではないか。TOiGOのハード面は完成しているので、市役所側の考え方を変えるだけの話だと思う。お金のかかる話ではなく、考え方を変えるだけで機能移転は</p>

	<p>すぐにできるのではないかと思います。いつまでも検討していないで、できるものから動かしていく必要があるのではないかと。生涯学習センターは役所の窓口ではなく、市民が利用するものになるようもう一度考えていただきたい。TOiGOへ機能移転ができなければ、もんぜんぷら座敷地の活用は夢のまた夢になってしまう。TOiGOへの既存機能移転案をぜひ取り入れていただきたい。</p>
部会長	<p>TOiGOの生涯学習センターともんぜんぷら座の機能は一体として考えるべきである。単純な機能移転ではなく、ゼロベースから考えてもらいたい。ソフト面の対応をゼロから構築してもらいたいという御意見をいただいた。</p>
事務局	<p>生涯学習センターの所管課と話し合いを行っている。今の御意見も参考に検討を進めていきたい。</p>
委員	<p>資料2の北東街区と南東街区に記載されている「再開発事業により都市機能が更新されている」という記載だが、新田町交差点全体を考える上で、駐車場という視点は避けられないと思う。資料の中には駐車場についてあまり記載がないが、TOiGOパーキングと北西街区にある旧ダイエーパーキングをある程度利用しようと考えているのか。</p>
事務局	<p>資料2に記載された北東街区と南東街区の「再開発事業により都市機能が更新されている」については、北東街区は再開発事業によりすでに老朽化した建物等が解消されており、南東街区はTOiGOパーキングとすることで低未利用地の解消につながっている。いずれの街区も都市機能が更新されているという状況を説明したものである。</p> <p>今年の4月から5月に行ったアンケート調査の中でも、駐車場が必要だという意見が多数寄せられた。現在新田町交差点周辺においては、南東街区のトイゴパーキングが再開発事業により整備されたが、北西街区の旧ダイエー駐車場は老朽化が進んでいるため、更新が課題になっている。都市機能の更新に併せ、必要な機能の導入も検討していく必要があると考えている。</p>
委員	<p>資料3の中で、既存機能の配置の方向性として北西街区については「再開発事業などによる複合施設の整備を検討」と記載されているが、その計画や見通しはどのような状況か。</p>
事務局	<p>昨年11月に開催した第27回中心市街地活性化基本計画評価専門委員会の中で、本検討について諮問をさせていただいた際に、委員の皆様から、新田町交差点周辺のまちづくりを検討するにあたっては周辺街区の皆様のご意向についても確認しながら検討を進めるよう御意見をいただいている。北西街区については、皆様のご意向をお聞きしながら、都市機能の更新を進める手法の一つとして市街地再開発事業についても提案しているところである。</p>
委員	<p>了解した。</p> <p>既存機能の移転先とするにあたって時期的なマッチングは心配ない</p>

	のか。
事務局	もんぜんぷら座の廃止が令和12年度末に予定されている中で、直接移転をするためには、令和12年以前に進める必要がある。この観点から検討部会で方針をとりまとめて検討を進めていきたいと考えている。
委員	北西街区は第4地区にあるが、以前から北西街区を何とかしてほしいという思いがあった。市が再開発事業の提案をする状況になれば、地元住民はすぐ動ける状態になっていると思う。再開発は反対ではなく、早くやってほしいと思っている。そうでないと、青空駐車場になってしまう。周辺建物は老朽化しており、観光客に長野市は衰退しているまちだと捉えられてしまうため、早く再開発を進める必要がある。 機能配置を進める上で最初にやるべきことは北西街区かもしれない。市で早く方針を決めてほしい。
部会長	移転配置をする上で、集客能力を低下させないためにも時期的なマッチングが非常に重要だという意見であった。 また、この部会でしっかり後押しし、新田町交差点周辺のまちづくりをどんどん進めてほしいという意見であった。部会の後押しがあれば、事務局も動きやすいと思う。
事務局	今年度末までもんぜんぷら座敷地利活用の基本的な方針をとりまとめた後、市街地再開発事業だけに限らず、都市機能の更新あるいは新たな機能を導入するための事業手法について早急に検討し、スケジュールも意識しながら進めていきたいと考えている。
委員	北西街区に機能移転できるなら、早急にやってほしい。子育て支援施設も交流支援施設もそうだが、サービスが止まってしまうと継続が難しくなる。北西街区などで継続が可能なのであればもんぜんぷら座に固執することなく早急に進めてほしい。 八十二銀行の敷地について、八十二銀行と市の間で話し合いは行われているか。
事務局	機能配置についてはできるだけ早くとりまとめ検討していきたい。ただ、既存施設については、利用率の向上等課題もあるので、運用面については、すぐに動き出すことが可能だと考えている。 北西街区の地権者の方々にはそれぞれアプローチをしており、八十二銀行にも同じように話をさせてもらっている状況である。
委員	地図上で移転先を考えるのは簡単だが、現実に可能なのか。
事務局	長野市が土地建物を所有しているわけではないので決して簡単なことではない。ただ、再開発事業は権利変換手法により、公平性、公共性の高い事業手法なので、権利者の皆様と話しをしながら進めていくことは可能かと考えている。
委員	北西街区は老朽建物もあり、地元の方も反対していないということで、進めやすいから移転先に選定されたということか。

	<p>もんぜんぷら座の敷地はやや不整形であり、南東街区も建物が連たんしているから難しいので、北西街区に移転することが良いという判断で理解してよいか。</p>
事務局	<p>進めやすいから北西街区にしたのではなく、資料のとおり課題がある中で、これまでの検討結果を踏まえ、総合的に考えて導かれた提案である。また、もんぜんぷら座の敷地についても利活用を考えていきたい。</p>
部会長	<p>新田町交差点周辺に導入すべき機能が何かということが中心で、それらを配置していったということだと思う。</p> <p>長野市中心市街地でもいくつか再開発事業を行っているが、地権者に話すタイミングを間違えると中々うまくいかないこともあると思う。その辺りは経験を積んだ長野市の器量ということになるかと思う。</p>
委員	<p>再開発事業で北西街区と南東街区の両方が使えれば、駐車場や商業施設、興行的なものもできるのではないか。そうなればもんぜんぷら座の場所も生きてくると思う。一気に新しいまちにしていけば、昔のような賑わいが戻ってくると思うので、早めに検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料2に示したとおり、南東街区には劣化した建物や低未利用地があり、課題となっている。もんぜんぷら座の既存機能の移転については、まずはT0iG0、北西街区への移転を先行して進めていきたいと考えているが、南東街区も都市機能上の課題があるので、引き続き検討していきたい。</p>
委員	<p>子育て支援施設が滞ることなく北西街区に移転できることが一番だと思うが、再開発事業となると時間がかかってしまうので、市にもぜひ頑張ってもらいたい。</p> <p>北東街区については、すでに建物があるので中身を再検討し、機能再編をすれば一番移転がしやすい場所だと思う。生涯学習センターとはすでに話しているとのことだが、T0iG0内にある商業施設の方とは話をしているのか。生涯学習センターだけではなく、T0iG0の建物全体の活用も検討していただきたいと思うが、どのように考えているのか。</p>
事務局	<p>3階と4階に生涯学習センターを設置している。生涯学習センターは長野市が床を取得している部分であり、利用率の課題もあるので、生涯学習センターは先行して検討する必要があると考えている。</p> <p>商業テナントとの関わりについては、T0iG0施設商業運営委員会に市職員も参加し、商業テナントと情報共有を行っている。</p> <p>優先順位として、まず長野市が所有している生涯学習センターの利活用について検討を進めているところであり、現状では具体的に商業施設をどうするかというところまで至っていない。まず生涯学習センターの検討を進める中で、課題等があれば検討していきたいと考えている。</p>

委員	放送局がTOiGOに入ることとなり、当時はこれで中心市街地が盛り上がるのではないかとすごく期待したが、現状はその逆の状態に陥っている。生涯学習センターよりも信越放送の床面積の方が大きい。セキュリティなどの問題はあるとは思うが、信越放送にもまちづくりに加わってもらい、使用していないフロアや低層階を利用させてもらうなど、信越放送を巻き込んだ取り組みにチャレンジしてほしい。
事務局	セキュリティ等の問題もあると思うが、運営委員会の中でも今後お話をさせていただき、一緒に考えていただくようお願いしたいと思う。
部会長	それでは議事2に移りたい。もんぜんぷら座敷地の利活用について、御意見をいただきたい。先ほど事務局から、もんぜんぷら座の敷地については、機能移転後の自由な土地活用が可能であり土地活用の自由度が高いということから、民間活力を用いた魅力の創出を検討したいという提案があった。この点について、御意見を伺いたい。
委員	中心市街地に観光で訪れる場所が善光寺しかない。もんぜんぷら座の敷地を市民が利用でき、さらに観光客が集まる場所にして、新田町交差点周辺を長野駅と善光寺をつなぐ拠点とすることで中央通りに賑わいが生まれると思う。観光情報発信の場所として、平凡なものではなく特徴のあるものをつくってもらいたい。農産物など魅力的なものもたくさんあると思う。長野の魅力は何かを考え、魅力的なものが集まる場所をつくっていただきたい。
部会長	観光情報発信について賛成いただいた。 型どおりのものではなく、集客ができるものということだが、今の意見について事務局としていかがか。
事務局	民間事業者へのヒアリング結果の中でも、地域独自のものについては、商業サービスの可能性があるという意見をいただいている。まだ具体的なものはないが、民間事業者からも御提案をいただきながら検討していきたいと思う。
部会長	参考資料3の内容を見ると道の駅の事例紹介が多いが、その中に情報発信の機能は含まれているのか。そういったことも考慮して情報収集等をされているのか。
事務局	市民の皆様にご回答いただいたアンケートの結果を見ても、新田町交差点周辺への商業機能導入という声は非常に多かった。 商業機能導入を実現するため、道の駅のような地元の食や農産物を扱うようなものを、もんぜんぷら座の敷地に導入するのはどうかという提案である。商業機能の導入を検討する中で、民間事業者ヒアリングを行ったが、商業が出店するには集客力のある施設との相乗効果が必要だという意見が出た。アンケートの中でも上位に出ていた文化機能などどのように連携していくかが重要だと思っている。この観点から、文化機能の一つとして、参考資料2をお示ししている。それも踏まえて委員の皆様のご意見を伺いたい。

委員	<p>行政がやるか民間がやるかという議論についてだが、行政が商売を すると失敗する。情報発信をしても面白いものにならない。観光機能 については、市は土地を貸すだけにして、あとは民間に任せた方が良 いと思う。市にその腹積もりがあるのか。</p>
事務局	<p>まず、長野駅と善光寺をつなぐ拠点にしていくべきとの意見をいた だいたが、新田町交差点周辺は長野駅と善光寺のほぼ中間点にあり、 中央西地区市街地総合再生計画の中でも、結節点としており我々も同 じように認識している。また、平凡なものをつくっても仕方がないとも 感じている。資料3には新たな機能として文化機能の部分に「他に はない特徴的な」と記載しており、さらに善光寺の後にどこに人が流 れるかという点では、情報発信機能の部分に「食や文化」ということ を記載している。我々もこの場所を賑わいの拠点として捉えてやって いきたいと考えている。</p> <p>次に市がやらない方が良いという厳しい意見もいただいたが、民間 の力をお借りしながら進めていきたいと考えている。北西街区につい ては、もんぜんぶら座の既存機能を速やかに効率的に移転する具体的 な手法として、市街地再開発事業という話も出たが、地元では待って いるという御意見もいただいたので、速やかにやっていく必要がある と考えている。もんぜんぶら座の敷地については、不整形であり、ま た、参考資料で示した道の駅などといった使い方が良いのではないかと 現時点では捉えており、PPPやPFIのように民間の力を借りて 一緒にやっていくことを考えている。</p>
委員	<p>人口減少については、どのように対応するのか。</p> <p>また、商業や観光の場所にしたいという話が出たが、小売業がとて も難しくなっている中で、ビジネスとして成功させるのはハードルが 高いのではないかと感じるが、どのように考えているか。</p>
事務局	<p>人口減少に対する具体的な対策は難しい面があり、人口減少は止め られない状況だと思うが、長野市中心市街地については、10年前と比 べると若干人口が増加している。市が進めているまちなか居住、中心 部への集約という施策の展開は続けていくことになると思う。</p> <p>この先人口が減少したとしても、観光客や来街者へのサービス提供 は非常に重要で、それらを両立させるようなまちづくりが今後必要に なると考えている。</p>
委員	<p>ここを農産物等の直売所や道の駅にしても、住民にとっては日常的 な買い物の場所にはなりにくいと思う。観光客にウェイトを置いた施 設にすると客層に波ができてしまう。それについてはどう考えている か。</p>
事務局	<p>完全に観光客に軸足を置いてしまうのはどうかと思っている。道の 駅は地元住民も使っているのではないかと感じており、導入にあたっ てはその内容を工夫していく必要がある。民間のノウハウを活かして</p>

	土地利用をしていければと考えている。
部会長	まちなか居住人口が増えたということだが、それは再開発によるマンション建設などで定住人口を増やす施策を行っているからということか。
事務局	おそらくそのような影響もあると思う。中心市街地人口は平成26年と比べて、現在は約200人増加している。市全域では高齢人口が増加しているが、中心市街地では生産年齢人口が増えている。ただ、年少人口が減少しているのも事実。マンションの是非はともかく、まちなか居住を推進し、中心部の人口を維持していくことはまちづくりとして十分あり得ると考えている。
委員	第3地区も第4地区も人口は増えている。マンション建設によるところもあるが、若者のシェアハウス居住が進んでいるところも大きい。数値には出てこないが、若者の昼間の人口が増えている。小さな事務所がたくさんできて、若者が昼間歩くようになってきた。困っているのは買い物する場所が無いこと。中心市街地に買い物する場所が無いので、若者も年寄りも非常に不便である。道の駅のような施設は大変便利である。観光客向けの施設には住民が行かないという概念ではもう無いと思う。金沢市の近江町市場は観光客も多いが、地元の人も多く利用している。あのような環境はすごく良いと思う。
部会長	貴重な情報提供をいただいた。まちなかの昼間人口も増えており、若者も増えているという話であった。引継ぎ手が無くて困っている状況の中で、若者が増えているのは大変心強い。ただ、買い物する場所が無くて困っているという点では、道の駅などができると地元も助かるという意見をいただいた。
委員	ここに商業施設をつくるのが適切なのか疑問に思う。前回は「周辺環境を見て商業施設の必要性を判断する」ということだったが、今回は商業施設を導入する方向で話が進んでいると思う。アンケート調査の結果、ここに飲食店が欲しいという意見が多かったということなのかもしれないが、アンケートの回答数は1,000件に満たない程度のものであり、商業機能が必要という意見の割合もその母数の中での割合だったのではなかったか。民間事業者へのヒアリングも、小売や物販だけでなく多方面に対して行ったものなのか。本日の資料から読み取れる経緯や内容からは適切であるとは言えないのではないかと。民間事業者が低賃料ならば入るとするのは、そもそも商業的に魅力がない場所ということなのではないか。新しく飲食店ができれば人が集まるかということ、そうではないと思う。魅力的な何かがあり、そこに人が集まりだすことで自然と商業店舗が戻ってきたりするものなのではないかと思う。資料3に記載されているアンケート結果だけでなく、他のデータなども収集しながら検討がなされたのか。 また、参考資料2、3に挙げられている施設はどのような意図で選

	<p>ばれたのか。ワーキンググループでの検討結果なのか内部検討の結果なのか。</p> <p>市では公共施設の床面積を減らして維持管理費の負担を軽くするような方向性を検討している中、新しく施設をつくることで将来の世代の負担になってはいけないと思うが、そのあたりの検討はされたのか。</p>
事務局	<p>民間事業者ヒアリングに関しては、大手の小売事業者と商業コンサルタントに対してヒアリングを行った。新田町交差点周辺という立地においてどのような活用方法が考えられるかをヒアリングしたところ、概ね資料3に記載したとおりの意見をいただいた。前回、商業機能は周辺環境を見て判断していくという話だったが、もんぜんぷら座の廃止が令和12年度末に決まっていることから、現在の施設をどうするかを検討を進める中で、既存施設を周辺街区に配置することにより、廃止後のもんぜんぷら座の敷地を民間事業者の力を借りて活用することができるのではないか、という提案である。新たな施設に参考資料で挙げているような施設を入れるということではない。ただ一方で、アンケートの中でも新たに導入を希望する施設として、カフェの併設を望む意見が多く挙がっていることもあるので、そこは配慮する必要があると考えている。</p>
委員	<p>PFIなど民間活力を使って施設をつくるというのは、もんぜんぷら座の既存機能を移転した後のもんぜんぷら座敷地に、既存機能とは別でつくることを考えているということか。</p>
事務局	<p>新たな機能として「飲食や物販など魅力的な商業サービスの提供」が必要という回答はアンケート結果でも上位を占めている中で、既存機能を周辺街区に移転配置することにより、もんぜんぷら座の敷地は民間活力を借りて、そのようなものに利活用できるのではないかという提案である。</p>
委員	<p>現在のもんぜんぷら座の敷地に加え、新たに取得する敷地を合わせることで今より大きな敷地になるというイメージで合っているか。</p>
事務局	<p>具体的に行政が商業機能の導入方法を検討しているわけではなく、参考資料にあるPPPやPFIによる土地活用の手法があることから、そういったスペースとして提供することは可能であるということである。</p> <p>また、公共施設マネジメントについては、公共マネジメントを推進する庁内会議の中に、もんぜんぷら座利活用に関する部会があり、本件についても公共施設マネジメントの一環として考えている。新たな機能の導入も含めて引き続き議論をしていく予定である。現在も非常に維持管理費がかかっているため、その辺も踏まえて庁内でも十分検討していきたいと考えている。</p>
事務局	<p>公共施設マネジメントについて補足をさせていただきたい。参考資料3の中でPPP・PFIの事例を記載しているが、PFI手法で民</p>

	<p>間活力を使って整備した施設は公共施設となるが、ここでPPPとして掲載しているフラノマルシェは、市の土地を活用して民間が民間施設を設置し、民間で運用している事例である。そのような方法もあるということで掲載している。</p>
委員	<p>PPPとPFIの事例については、成功事例も失敗事例もあると思う。もんぜんぷら座敷地だけでなく、まちづくりや中心市街地活性化、人口減少など様々な観点がある中での検討が必要だと思う。アンケートやヒアリングだけではない、別の裏付けもあると良いと感じた。</p>
委員	<p>北西街区はかなりの広さがあると感じる。市民活動交流支援、子育て支援、文化的要素を取り入れたいということで図書館のようなものをイメージしているようだが、個人的に長野市の図書館はもう少し何とかなってほしいと思っている。</p> <p>美術館をつかってほしいと言うつもりはないが、これだけ大きい都市にしては、市内に美術館などの文化施設が少ないのではないかと思う。芸術館は席数を確保しているが文化施設としては失敗だと思っている。演奏会など豊かさやワクワクに触れる機会も、ドレスアップをして人と待ち合わせる場所もない。上田市や松本市のホールに行く方は気分が上がる気がする。</p> <p>企画内容そのものではなく、施設整備にあたり失敗は許されない。デザインが少し新しいだけの図書館ではなく、長野市にふさわしい図書館で、かつ、読み聞かせができる場所があるなど、子育て支援と親和性が高いものがあったり、視聴覚に障がいのある方に配慮した機能があったりなど、よく検討して良いものをつくる必要があると思う。全国的に自慢できるものにしてほしい。</p> <p>もんぜんぷら座の既存機能移転の検討の中で生涯学習センターの見直しの話が出たが、料金設定から見直してほしい。TOiGOのホワイエは展示する会場としての条件も機能も良くない上、価格が高い。しなのギャラリーよりも高くてほとんど使えない。シンポジウムや講演会、講座に使いやすい料金設定が必要である。良い機会なので、誰もが使いたくなる、愛される場所にしてほしい。</p>
委員	<p>先日、長野市再開発事業促進協議会の視察研修で愛知県豊橋市の「まちなか図書館」を視察した。今回の参考資料にまちなか図書館の事例がないことに違和感を持った。横の連携が図られていないのではないかな。今後のまちづくりにおいては横との連携をしっかりと図っていただきたい。豊橋市のまちなか図書館は、本の貸出、返却には機械を導入しており、官民連携で運用され、雇用も生み出している。地元でも愛着が高まりつつあり、周辺市町村からも利用者が来るほどである。先ほど特徴のある施設であったり、お洒落でデザイン性の高い建物といった意見が出たが、長野市民が愛着を持てる、居心地の良い空間になることが最も重要だと思う。視察に参加した担当者に豊橋市の図書</p>

	館の話聞いてほしい。
事務局	<p>本部会事務局である長野市まちづくり課の職員も視察に同行させていただいた。参考資料2に掲載した事例は、文化施設を核として子育て支援や青少年育成支援を行う公共施設を中心にピックアップさせていただいたものである。豊橋市の事例は民間施設の中に図書館が設置されている事例であるため今回の資料には掲載しなかったが、今後検討を進める上では、全国の事例など幅広く参考にしていきたいと考えている。</p>
部会長	<p>参考資料2、3については、あくまでも皆様から意見をいただく上でのイメージであるとのことである。皆様の中で他にも良い事例があるということであれば、事務局へ御提案いただきたい。</p> <p>本日、委員の皆様から多数の貴重な御意見をいただいた。図書館については、アンケートで「カフェなど居心地のよい図書館」の要望が多く、これまでのワーキンググループ及び前回までの部会でも「他にはない特徴的な図書館」が必要だとの意見をいただいていた。今回も委員の皆様から魅力ある図書館の設置に期待があるというご意見をいただいた。また、新田町交差点周辺一体となって進めることを本部会でぜひ推し進めてほしいという御意見もいただいた。しっかりと進めていってほしい。</p> <p>最後に、まとめに入りたい。導入機能の配置については、北東街区にある生涯学習センターの機能再編によって、機能充実を図ることを検討していくということであった。また、機能再編にあたってはソフト的な対応から始め、魅力あるもの、使えるものにしてほしいという御意見を委員の皆様からいただいた。これに加え、北西街区において再開発事業の活用なども視野に複合施設を整備することにより、必要な機能の導入についても検討していくということであった。</p> <p>もんぜんぷら座の敷地利活用については、既存機能の移転を進め、民間活力を活用して自由度の高い計画とするということであった。また、アンケートの結果を踏まえ、長野の食や文化などが体験できる施設を導入し、地元住民と観光客の両方が使えるものにしていくということであった。この地域に合ったものを具体化していただきたいと思う。</p> <p>事務局から資料2、3を提示していただいたが、この方向性で進めてもらうということよろしいか。</p>
委員一同	はい。(賛同いただく)
部会長	先にまとめさせていただいた整備方針を本部会委員の皆様にご後押ししていただいた。事務局には諸調整も含め、素早く対応していくようお願いしたい。

(3) その他 (新田町交差点周辺まちづくり検討スケジュール(予定)について)

資料4 (説明者：事務局が説明)

	質疑無し
--	------

5 その他
無し

6 閉会